

愛知県下伝達講習会資料

平成24年度[東海]地区指導者講習会受講報告書

期日：平成24年5月12日(土)・13日(日)

会場：浜松市弓道場

講師

主任講師 範士八段 秋山照美先生

講師 範士八段 久保田清先生

受講者 榎戸大介 渡邊百世 園田敏雄 大澤島平 榎本千代子

伊藤勝美 榎本幹夫 高橋裕也 藤島正己 (愛知県9名) 全24名

第一日目

※開講式：秋山主任講師挨拶

- ・全地区で実施する本講習会は、全日本弓道連盟全国統一の日程表に則り実施する。
 - ・今回は「基本の確認」である。(基本の徹底をモットーとする)
- 以上2点を重点に実施するとの挨拶があった。

※主任講師の講話(要旨、特記など)

[指導の心構え]

- ・指導者は、指導の言葉には責任が重いものがある。
- ・教本にもあるように、射技と体配は両輪のごとく一体である。
- ・教本に則ること。弓道の専門用語を使って正確に指導する。
- ・指導するには自らが範示できることが必要。
- ・指導は楷書で行う。楷書をマスターしなければ行書も草書もできない。
- ・技術だけで取組むと、体が衰えた時に関心をなくしてしまう人が多い。(弓道の良さに感心をもたせる。)
- ・人によって骨格や体型が違うので、同じ指導はできない。男子は関節が硬いが女子は軟い。
- ・怪我や筋力低下で挫折や断念する人がある。骨格体型を良く知ること。(関節の組合せなど)
- ・弓道の取組み方は色々な方法、幅がある。心についても同じである。関心をなくさないように指導する。
- ・指導するには、指導者自身にも厳しく律する。

※基本体の実習

- ・弓道教本第1巻57Pから、基本体の項を受講生が交代で読みながら他の受講生が実習した。

以上。

(記) 藤島正己